

2023

8.26 sat.  
8.27 sun.

# 第15回 日本獣医腎泌尿器学会 学術集会・総会

プロフェッショナル腎臓病診断学～腎生検の課題と未来

会場

ベルサール飯田橋ファースト【完全対面開催】

東京都文京区後楽2丁目6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー B1F  
「飯田橋駅」C3出口徒歩3分（大江戸線）|「飯田橋駅」東口徒歩5分（JR線）

大会長

小林沙織（岩手大学）

プログラム

教育講演（認定講習会）| 基調講演 | シンポジウム |  
一般症例・研究発表 | 定時総会 | 情報交換会 | アワード表彰式 |  
ランチョンセミナー【協賛：富士フィルム VET システムズ株式会社】 | 企業展示

参加登録はこちら

Web決済サイトより申し込み下さい <https://jsovs.com>

事前  
登録

8/14月 締切

会員	非会員	学生	情報交換会
10,000円	18,000円	2,000円	5,500円



当日受付あり（ランチョンセミナーは事前登録の方のみ参加できます）



当日受付

8月26日（土）

開場 9時00分

受付 12時00分

開始時刻 12時55分

8月27日（日）

開場・受付 8時30分

開始時刻 8時55分

会場アクセス



お問い合わせ 日本獣医腎泌尿器学会事務局

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-9-19 TEL 03-6454-9021 FAX 03-6454-9028 e-mail : info@javnu.jp

8.26 sat.  
プログラム

9:00 - 10:45 (オンライン配信) | 12:55 - 17:30 (現地開催)

9:00-9:05

開会の辞 - 合同シンポジウム 西山成 先生 (香川大学医学部薬理学)

9:05-10:45

日本腎臓学会合同企画シンポジウム

獣医療 / ヒト医療から発信する腎臓病基礎研究とその敷衍

「糖尿病性腎臓病モデルマウスの確立～マウスで腎臓病研究を行う意義～」

講師: 小豆島健護 先生 (横浜市立大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学)

「イヌはマウスーヒト間のミッシングリンクを埋められるか?

～腎生検によって膜性腎症と診断したフレンチ・ブルドッグの一例を通して～」

講師: 飯尾亜樹 先生 (東京大学大学院農学生命科学研究科獣医臨床病理学研究室、現: シンシナティ大学医学部)

「腎臓再生の現況と課題～ iPS 細胞と異種移植とキメラ技術について～」

講師: 山中修一郎 先生 (東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科)

「猫の慢性腎臓病を取り巻く実情と展望

～慢性腎臓病に対する 5- アミノレブリン酸の効果～」

講師: 西玲央 先生 (東京大学大学院農学生命科学研究科獣医臨床病理学研究室、現: パデュー大学獣医学部)

※リアルタイム配信のため、お持ちのPC/タブレット等でご視聴いただけます。オンデマンド配信は行いません。

※会場での放映はございません。

※開催日が近くなりましたら、URLを別途メールでお知らせいたします。

12:55-13:00

開会の辞 秋吉秀保 先生 (大阪公立大学)

13:00-14:00

教育講演 (認定講習会)

カリキュラム1 「腎泌尿器の発生、解剖および形態異常」

講師: 市居修 先生 (北海道大学)

14:10-15:10

教育講演 (認定講習会)

カリキュラム2 「腎泌尿器の生理機能と異常」

講師: 池田正浩 先生 (宮崎大学)

15:20-16:20

教育講演 (認定講習会)

カリキュラム3 「臨床徴候および腎機能検査」

講師: 竹村直行 先生 (日本獣医生命科学大学)

16:30-17:30

教育講演 (認定講習会)

カリキュラム4 「尿検査」

講師: 矢吹映 先生 (鹿児島大学)

17:30-17:35

閉会の辞 市居修 先生 (北海道大学)

18:00-20:00

情報交換会

第14回学術集会アワード受賞者の表彰、新認定医代表者からの挨拶等を企画しております。会員皆様の交流を深めるため、是非ともご参加ください。

情報交換会参加費 5,500円

8.27 sun.

プログラム

8:55 - 17:35 (現地開催)

8:55-9:00

開会の辞 大会長 小林沙織 先生 (岩手大学)

9:00-10:00

基調講演

座長：市居修 先生 (北海道大学)

「人医における腎生検の実際と腎病理診断学」

講師：堀野太郎 先生 (高知大学医学部附属病院 内分泌代謝・腎臓内科)

10:05-12:00

シンポジウム

講師：佐藤れえ子 先生 (岩手大学名誉教授)、山野茂樹 先生 (うえだ動物クリニック)

「腎生検および病理検査の現況と問題点、展望」

講師：代田欣二 先生 (麻布大学名誉教授)

「腎生検の実際～腎臓の解剖、腎組織の採取と取り扱い」

講師：矢吹映 先生 (鹿児島大学)

「腎生検を実施した臨床例における治療と臨床経過」

講師：島崎徹 先生 (ノヤ動物病院)、林雄平 先生 (日本動物高度医療センター)

12:10-12:50

ランチョン  
セミナー

協賛：富士フイルム VET システムズ株式会社

座長：星史雄 先生 (岡山理科大学)

「IRIS CKD ガイドラインアップデート 2023」

講師：宮川優一 先生 (日本獣医生命科学大学)

12:55-13:25

日本獣医腎泌尿器学会総会

総会終了後、30分の休憩がございます ぜひ展示ブースへお立ち寄りください

#### ● 認定医プログラム参加者の単位認定について ●

第15回学術集会对面のみとなりますので、学術集会参加単位の取得を希望するプログラム参加者はご注意ください。昨年度までのCOVID19による特別対応を終了し、今回の学術集会から通常通りの学術集会参加単位の認定方法(1回参加する毎に1単位認定)となります。

##### ① 学術集会参加単位の認定方法

学術集会の参加を登録する(学術集会当日の参加登録も受け付けますが、円滑な学術集会運営のために事前登録にご協力をお願いします)。

学術集会の会場にて、プログラム参加証(顔写真入り)を受付の担当者に提示する。

以上の2点を満たした場合に単位を認定します。

##### ② 認定講習会受講単位の認定方法

上記①を満たしている。

認定講習会の講演毎にパスワードを会場で掲示します。認定講習を受講後に受講した講演について、指定のフォームに入力する。

以上の2点を満たした場合に単位を認定します。

パスワードの提示方法やパスワードの登録方法等の詳細な情報は、メールならびにホームページにて案内しますので、必ず確認しておいてください。また、学術集会の会期中にも会場にてアナウンスいたします。

13:55-17:30

## 一般発表演題

開始	終了	演題番号	区分	演題名	演者	所属	座長
13:55	14:06	01	研究報告	ネコ慢性腎症の新規診断マーカーの探索と評価	清水百梨	麻布大学	片山泰章先生 (岩手大学)
14:06	14:17	02	研究報告	ネコ腎臓病の診断マーカーの探索	金山陸	鳥取大学	
14:17	14:28	03	研究報告	犬における末梢動静脈を用いた血液透析の検討	原万友果	岐阜大学	
14:28	14:39	04	研究報告	尿管の代替材料としてのバイオチューブの有用性の検討	荒木留	岡山理科大学	
14:44	14:55	05	研究報告	急性腎障害の原因として腎盂腎炎と診断されたネコでの治療前パラメータ、治療の有効性、予後の評価	鈴木琴奈	日本獣医生命科学大学	下川孝子先生 (岡山理科大学)
14:55	15:06	06	研究報告	イヌおよびネコでの慢性腎臓病の予後と代謝性アシドーシスの関連性の評価	柳井優里	日本獣医生命科学大学	
15:06	15:17	07	研究報告	猫の非腫瘍性尿管閉塞に対するタムスロシンの効果に関する回顧的研究	古澤悠	鹿児島大学	米澤智洋先生 (東京大学)
15:17	15:28	08	研究報告	猫多発性嚢胞腎の重症化因子探索のための死亡年齢の実態調査	榎本武留	岩手大学	
15:33	15:44	09	症例報告	後腹膜腔および腹腔内に嚢胞液が漏出した多発性嚢胞腎のネコに対して外科的介入を実施した1例	上野廣奈	岡山理科大学	藤原昌雄先生 (太宰府西犬猫クリニック)
15:44	15:55	10	症例報告	慢性腎臓病治療中の <i>Capillaria plica</i> 感染を疑う犬の一例	古澤慶一	岐阜大学	
15:55	16:06	11	症例報告	急性腎心症候群を疑った猫の1症例	三浦篤史	小滝橋動物病院	
16:06	16:17	12	症例報告	不完全型重複腎盂尿管と診断された猫の一例	今尾賢人	東京大学附属動物医療センター	青木大先生 (あおき動物病院)
16:17	16:28	13	症例報告	尿管重積を認めた犬の1例	小澤瑠花	DVMs どうぶつ医療センター横浜	
16:28	16:39	14	症例報告	犬の膀胱結石に対する膀胱洗浄の有用性	三品美夏	DVMs どうぶつ医療センター横浜	
16:44	16:55	15	研究報告	高齢猫の慢性腎臓病における腎臓組織のDNA障害とアポトーシスについて	藏原なつめ	鹿児島大学	代田欣二先生 (麻布大学名誉教授)
16:55	17:06	16	研究報告	タクロリムスはFKBP12とアクチン関連蛋白質14-3-3、synaptopodinの相互作用を増強し、アクチン線維のFKBP12を保持する事で糸球体上皮細胞傷害を軽減する	安田英紀	新潟大学腎研究センター	
17:06	17:17	17	研究報告	薬物誘導型モデルマウスから考察する妊娠糖尿病と腎臓への影響	高橋なるみ	北海道大学	山崎寛文先生 (日本動物高度医療センター)
17:17	17:28	18	研究報告	ネコの腎臓をみなおすー腎臓病対策に有用な形態学的知見をもとめてー	吉良俊之介	北海道大学	

発表時間変更のご案内：発表時間7分、質疑応答4分とさせていただきます

17:30-17:35

閉会の辞 学会長 佐藤れえ子先生 (岩手大学名誉教授)

## 【協賛企業】

アークレイマーケティング株式会社 (展示有)

合同会社 Wisham (展示有)

株式会社エフスリー (展示有)

株式会社アローズ (展示有)

有限会社オーキッド (展示有)

株式会社キムラメド

日本全薬工業株式会社 (展示有)

株式会社ファームプレス (展示有)

富士フィルム VET システムズ株式会社 (展示有)

ベリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社

株式会社森正工業設計 (展示有)

リーフインターナショナル株式会社 (展示有)

ペットコミュニケーションズ株式会社 (展示有)

(順不同)

お問い合わせ 日本獣医腎泌尿器学会事務局

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-9-19 TEL 03-6454-9021 FAX 03-6454-9028 e-mail : info@javnu.jp